

ツイストシャツの型紙　714　ツイストシャツの作り方

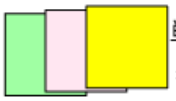
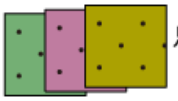
必要な材料

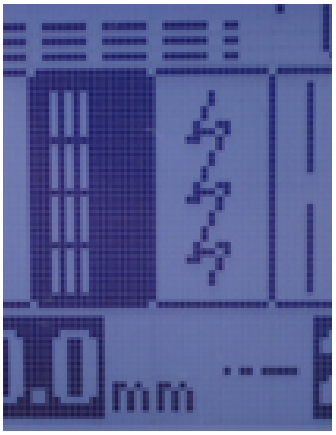




□　表生地　（伸縮性のあるニット生地）
□　レジロンのニット糸：1.3倍ほど伸びる糸。糸切れを防ぐために必須□　ニット針　：洗濯後の穴伸び防止
□　接着芯　10cm　肩などの伸び止め用。
□　セロファン　（百均可）：食い込み防止・伸縮生地の安定に使用。
□　ラックテープ（4～5mm幅）：布用アイロン接着の両面テープ。あると縫いやすい。

生地選びのコツ
スムースやフライスと書かれた生地を選ぶ。
冬は厚手がおすすめ。フライスはよく伸びる分、初心者には少し難易度が高め。
伸びる生地で作る前提のゆるみで型紙を作っているので、必ず伸びる生地と伸びる糸を使うこと。

 **本番前に必ず** **1/10 サイズを作って！** テープで組み立ててから 裁断に入ってください!! 勘違いや失敗が格段に 減ります！！  単色 表面  点描 裏面 たった3～20ピース程度のパズルなんて簡単だと思いませんか？	うさこの型紙屋さんが作った型紙には1/10サイズの型紙がオマケで型紙の余白部分に付属しています。 布を切る前にこれを組み立てると、説明書の理解度が上昇します。 洋裁が難しく感じるのは理解できないのではなく先が想像できないからです。 パズルと思ってテープで組み立ててみてください。
ニットの縫い方 ズレる生地の型紙の写し方 縫う前の下準備	必ず伸びる生地と伸びる糸（レジロン）とニット針を使う。 伸びない糸で縫うと、着替えの時等で糸が切れる事がある。
 	ニットは取扱いにコツが必要です。 知らない方のために型紙の写し方から動画に撮ってまとめたページを用意しています。 写しにくいなあ、折り目がつけにくいなあというとき等は、QRコードをお手持ちのスマホで読み取ってご利用ください。

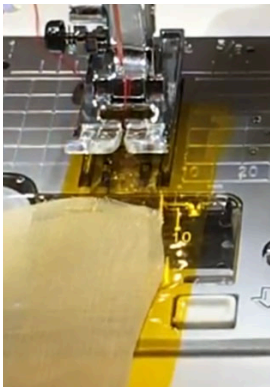


ニットの縫い方

縫い模様が少ないミシンの場合、図のような三本線の柄がミシンにあれば、これを選択して縫う。

この模様縫いだと1．5倍程度の伸縮でも耐える。

コンピューターミシンの場合、伸縮縫いという機能があればそちらを使う。
（右隣の雷のような模様・ミシンによって図は若干異なる）



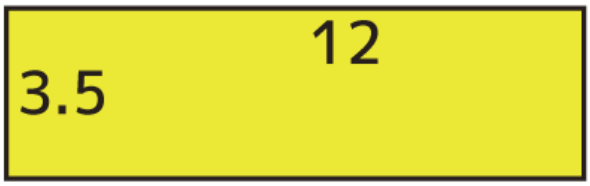


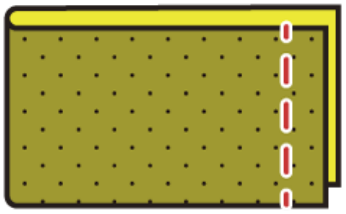
縫う時の伸びを抑えるため、帯状に切ったセロファンを、生地と押え金の間にはさむ。

これだけで縫いズレや生地の伸びを防げる。

縫い終わったらリッパーでなぞって破り取る。
破片が残ったらテープでたたけば取れる。

ない場合はコピー用紙位の薄い紙でも代用できるが、取り除くときに縫い目が乱れやすい。



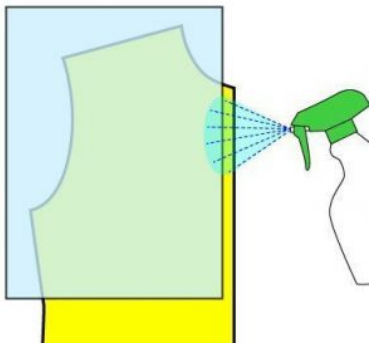




ニット糸は高速で縫うとねじれが起こって切れることがある。

そういう時はストッキング、ニットやストレッチ素材のはぎれで輪をつくり糸コマにかぶせると切れにくくなる。

縫わずに洗濯ばさみなどでつまんでも良い。

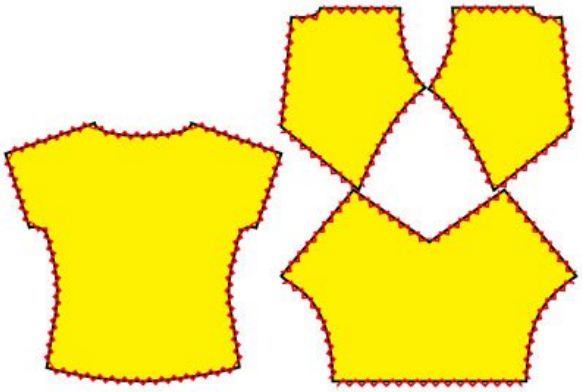


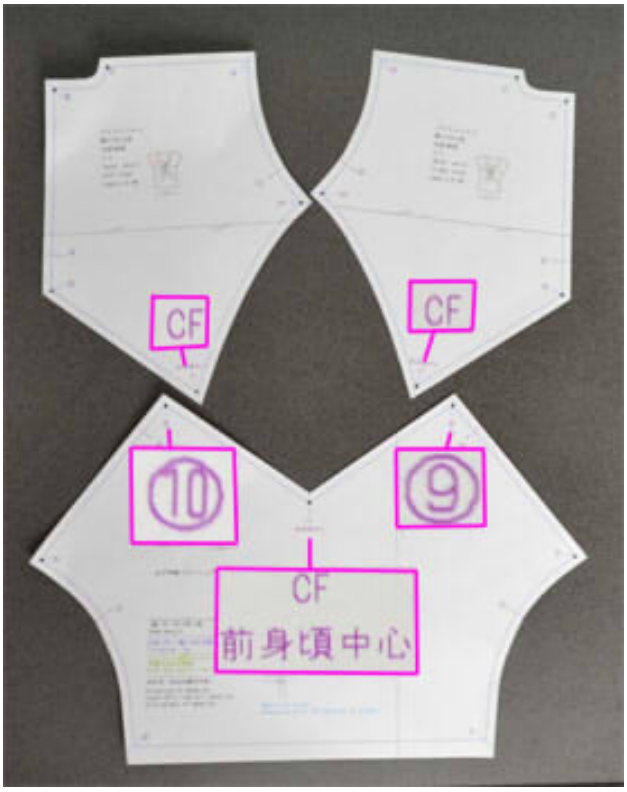
端が丸まって縫いにくい生地の場合

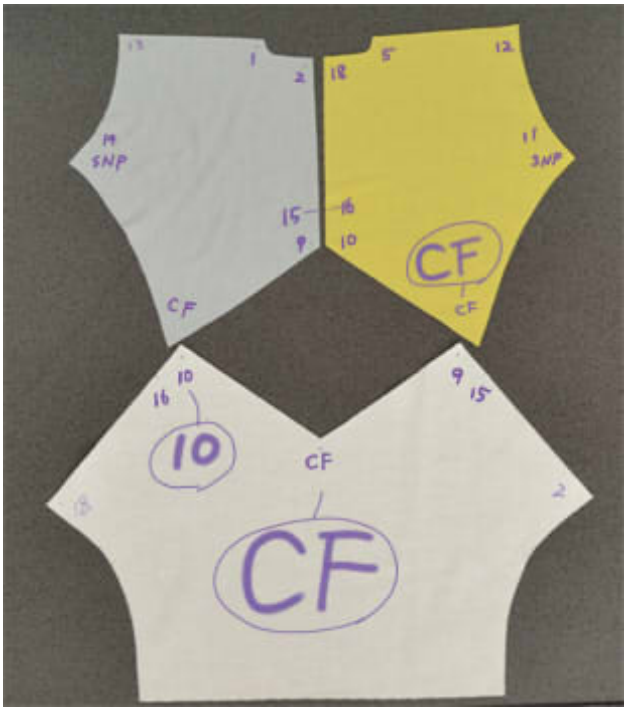
洗濯用スプレーのりを、縫い代以外にかからないように紙で覆い、吹きかける。

アイロンをかけると張りが出る。

アイロンはすべらせず、移動させるときは持ち上げる事。

	型崩れを防ぐために、肩と後ろの襟ぐりの縫い代に接着芯を貼る。 伸び止めテープでもよいし、接着芯を1cm幅に切ったものを貼ってもよい。
	 ほつれ止めをする。 ニットのほつれ止めは左のように点線のジグザグを使います。

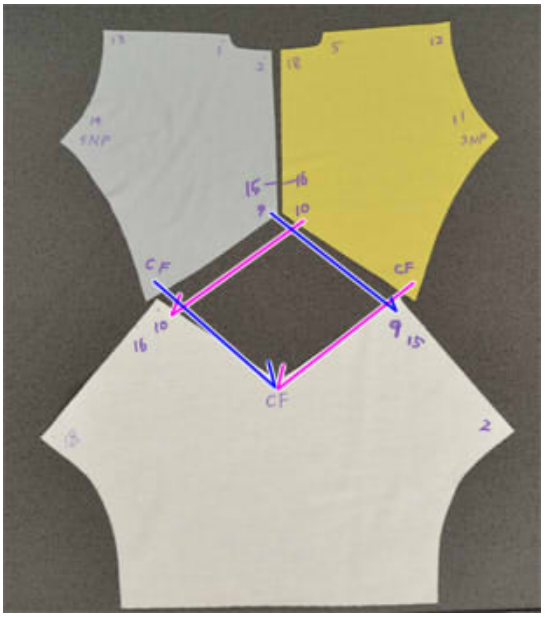




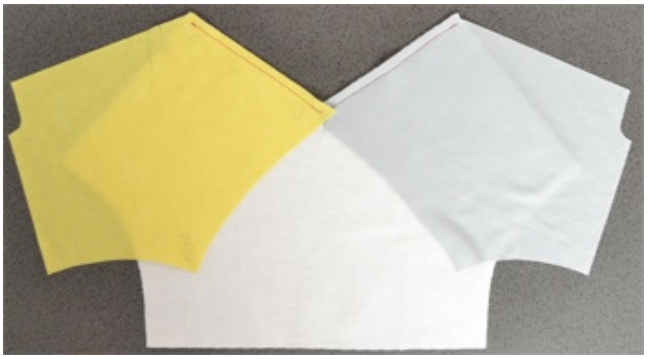
ねじるので縫い合わせの位置が分かりにくくなりやすいので、型紙に書いてある数字やマークを消えるチャコペンなどで縫い代に写しておくと分かりやすい。

マスキングテープに油性ペンで番号を書いて貼っても良い。

※図は写真で見やすいように文字を大きめに書いてます。



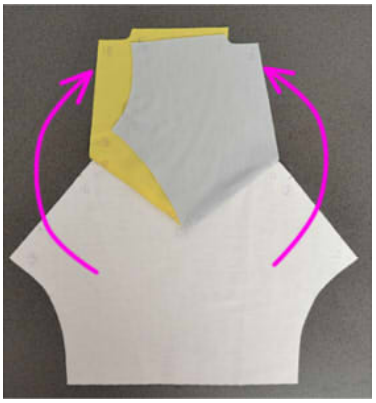
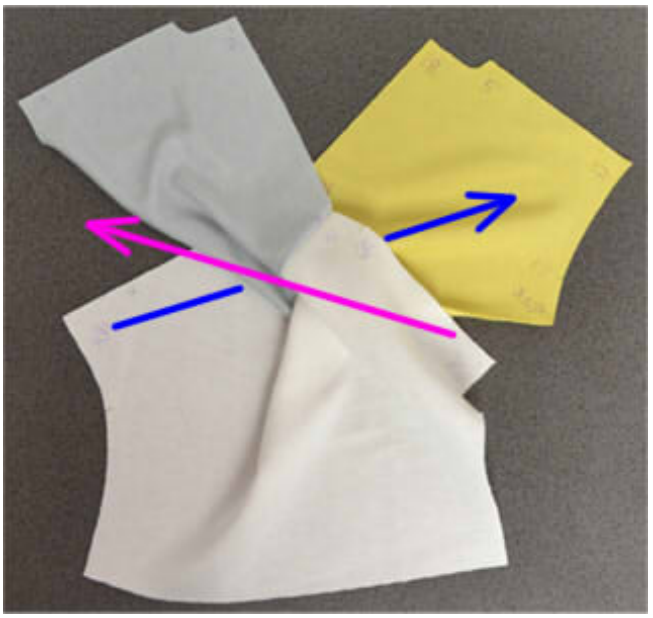
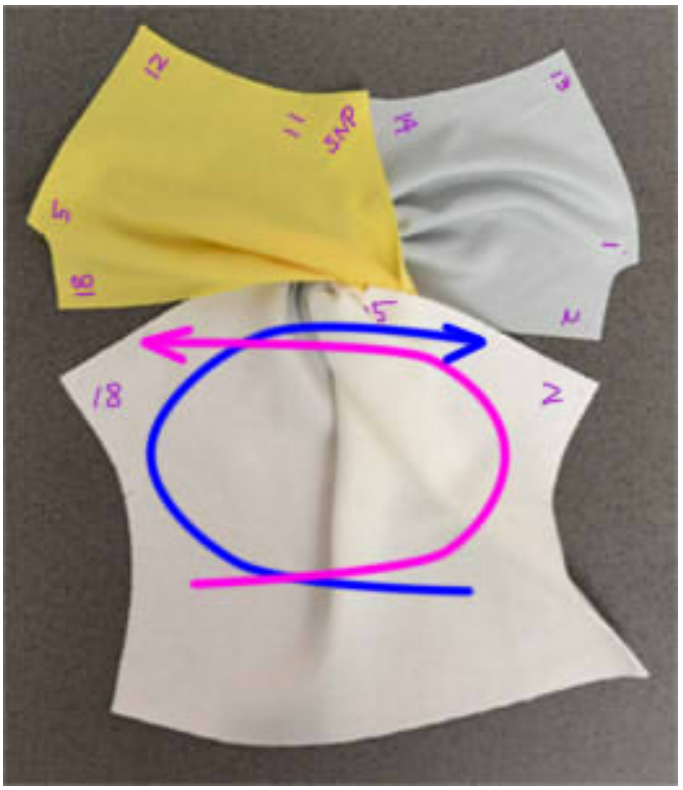
同じ番号同士を合わせ中同士が表になるように重ねる。





端1cmあけて、縫い代1cmで縫う。

下の生地の縫い代を縫いこまないようによけて縫う。

	胸の部分を上に起こす。
	クロスさせる。
	さらに反対側にねじる



型紙で言うところの15と18　16と18を合わせる。

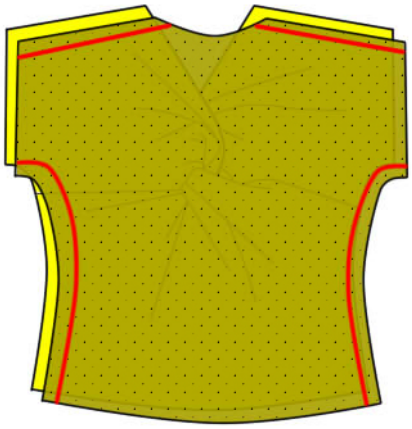
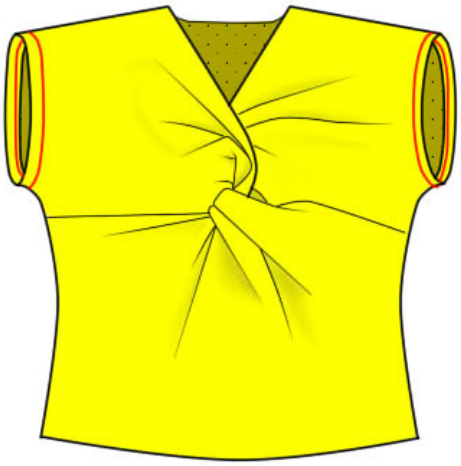
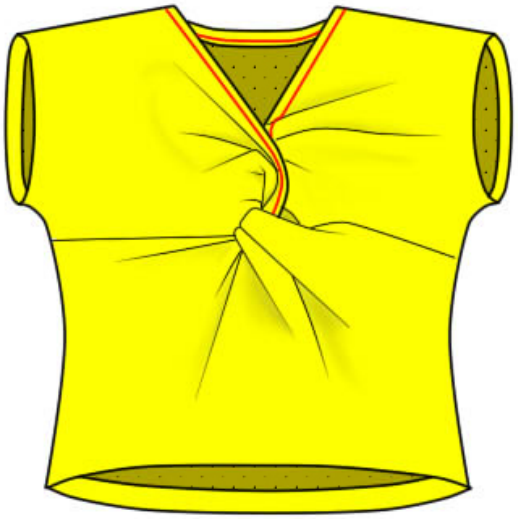
生地に番号を書いておくと、ねじれても数字同士を合わせればいいので分かりやすいと思います。

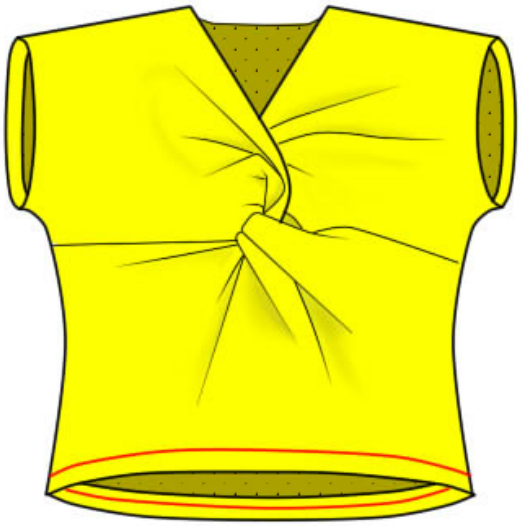


端から切込みまでの間を1㎝幅で縫う。



上側を起こす。

	前身頃と後身頃を内側が表になるように重ねて肩と脇を1㎝幅で縫う。
	そでの縫い代を2cm内側に折って1.5cmの所を縫う。
	首周りの縫い代を内側に1cm折って縫う。  ねじった部分は引き出せるので、端は引っ張り出して縫う。

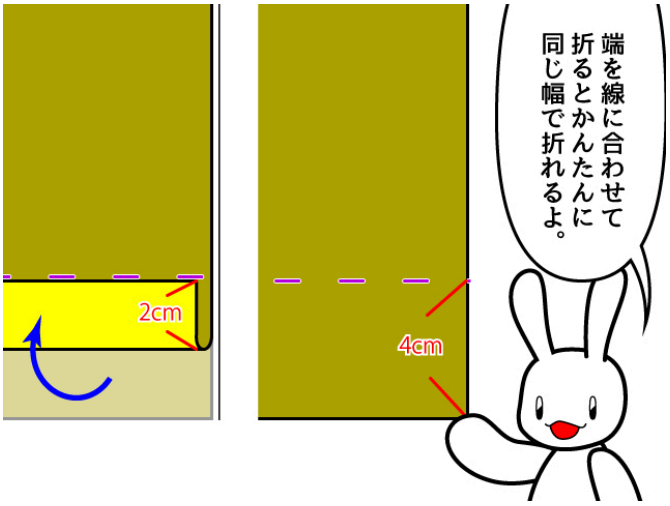


すその縫い代を2cm内側に折る。

1．5cmの所を縫う。

よくのびる生地の場合直線縫いだと、脱ぎ着の時に糸が切れやすいので布端をまたぐように三点ジグザグで縫うとよい。

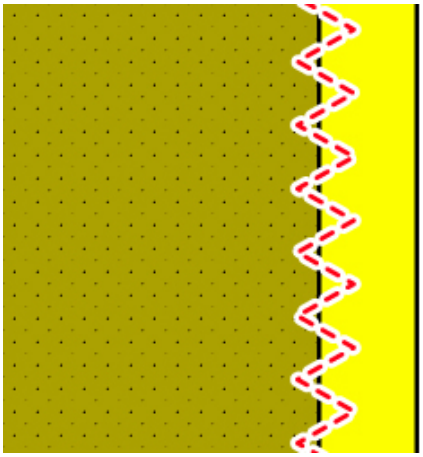




縫い代をキレイに折る方法

慣れていない人はすその裏側に、端から4cmの平行線を引く。

折り紙を折るように、4cmの平行線に向かって端を折ると2cm幅で綺麗に折れる。







三点ジグザグで布端をまたぐように縫うと端が落ち着く。

ニットは直線で縫うと、端が丸まりやすいので、幅広く縫うことで仕上がりが良くなります。

ニットのすそ上げにも使えるので、覚えておくと役に立つと思います。